

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	22985
事業名	リサイクルプラザ・リユースプラザ運営管理費					
評価担当課	所 属	環)環境事業部 循環型社会推進			電話番号	011-211-2928
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	● 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市では、新スリムシティさっぽろ計画のもと、ごみの減量と資源化に取り組むこととしており、市民一人ひとりの意識の向上と定着を図っていく必要がある。そのためには、単なる周知啓発だけではなく、各種教室や講座の開催に加え、イベントや相談窓口など、効果的な取組を進めていくことが求められている。 また、大型ごみとして出された家具等の中には、引き続き使用できる製品が多くあり、これらをリユースにつなげていくことで、ごみの減量を図っていく必要がある。
	事業内容 (何を実施し)	①リサイクルプラザ宮の沢、発寒工房・リユースプラザで、次の事業を行う。 ・リユース家具等の清掃・整備・保管・展示提供 ・教室・講座・イベント等による普及啓発 ②地区リサイクルセンターで、次の事業を行う。 ・新聞・雑誌や古着など、22品目の資源物等を持ち込める回収拠点の運営
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	市民が廃棄物の減量及び資源の有効活用に関する知識と理解を深め、自主的に活動することにより、家庭から出る廃棄ごみを減量する。
	他都市の状況	他政令市では、千葉市、堺市、熊本市を除く16都市がリユース品を提供する施設やごみ減量啓発を行う施設などを設置しており、仙台市や福岡市など13市では2か所以上の施設を設置している。これまで、神戸市や熊本市など、事業の見直し等により一部施設を閉鎖した市もある。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	98,323 千円	うち特定財源	8,764 千円	正規職員業務量	1.2 人工
令和5年度予算額	105,864 千円	うち特定財源	9,111 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	101,692 千円	うち特定財源	9,345 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	103,613 千円	うち特定財源	9,046 千円	正規職員業務量	0.8 人工

指標	アウトプット 活動指標1	来館者数(リサイクル・リユースプラザ)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		114,889人	100,000人	123,970人	115,000人	115,000人	115,000人
	↓						
	アウトカム 成果指標1	来館者のうちごみ減量・資源化に取り組んでいる人の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		－	90%	98%	90%	90%	90%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	来館者数は増加した。来館者のうち、ごみの減量・資源化に取り組んでいる人の割合は高い値となっており、ごみ減量等につながる事業に取り組んでいきたい。					
	アウトプット 活動指標2	教室イベント等の参加者数(リサイクル・リユースプラザ)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		17,902人	16,800人	20,147人	18,000人	18,000人	18,000人
	↓						
	アウトカム 成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	教室イベント等の参加者数は増加した。引き続き、教室やイベントを通して意識の醸成に努めていきたい。					

今年度の見直し内容	若年層をターゲットにした啓発を行うべく、SNSの活用や子育て世帯を意識したイベントなどの充実に取り組んだ。
来年度以降の方向性	ごみの減量、分別に係る市民意識の向上を図るべく、引き続き、各種講座や教室を通した普及啓発を実施していく。